

第2グループ		1 発行状況	2 発行・配布				3 編集体制		
		(1) 発行回数・ 発行部数 (1回あたり)	(2) 発行時期（発行月）	(3) 平均発行 所要日数	(4) 配布先 (各世帯以外で)	(5) 年間発行経費 (令和5年度見込み)	(1) 編集委員会名	(2) 編集委員及び 担当職員数	(3) 編集作業
小国町 『おぐに議会 だより』	議会単独	年4回 2,500部	5月、8月、11月、2月	50日	庁舎、 町民センター、 町内各金融機 関、など	(予算) 1,000,000円 1部あたり約 100円	広報特別委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同
津奈木町 『つなぎ議会 だより』	議会単独	年4回 2,000部	5月、8月、11月、2月	40日	図書館	(予算) 1,026,000円 1部あたり約 128円	議会広報特別委員会	編集委員5人 担当職員1人	議員・事務局合同
錦町 『錦町議会 だより ほおじろ』	議会単独	年4回 3,830部	4月、7月、10月、1月	20日	図書館	(予算) 448,800円 1部あたり約 29円	広報特別委員会	編集委員5人 担当職員1人	議員・事務局合同
あさぎり町 『あさぎり町 議会だより』	議会単独	年4回 5,300部	5月、8月、11月、2月	45日	学校、 銀行等、 公共施設	(予算) 797,500円 1部あたり約 38円	広報調査特別委員会	編集委員6人 担当職員1人	議員・事務局合同
湯前町 『ゆのまえ議 会だより』	議会単独	年4回 1,650部	5月、8月、11月、2月	40日	町観光案内 所	(予算) 704,220円 1部あたり約 107円	議会広報調査 特別委員会	編集委員5人 担当職員2人	議員・事務局合同
多良木町 『たらぎ議会 だより』	議会単独	年4回 3,550部	4月、7月、10月、1月	31日	学校、 図書館、 姉妹町	(予算) 1,055,000円 1部あたり約 74円 (12ページの場合)	議会広報調査対 策特別委員会	編集委員6人 担当職員3人	議員のみ
水上村 『議会だより』	町村広報に掲載	年4回 900部	5月、8月、11月、2月	40日	学校、 社会福祉協議 会、物産館など の行政関連施設	単独ではないため 算出できない	広報特別委員会	編集委員4人 担当職員1人	議員・事務局合同

第2グループ 4 一般質問の掲載							
	(1) 文字数の制限 (1人あたり)	(2) 質問原稿の 作成者	(3) 執行部答弁 原稿の作成者	(4) 質問関連 写真の準備	(5) 原稿締切日	(6) 上記以外で、原稿提出 に関する取り決め事項	(7) 一般質問を広報紙に掲載するにあたり、 気を付けていること、苦労していること
小国町 『おぐに議会 だより』	700字以内	議員本人	議員本人	事務局	広報委員長の指定日（おおよそ発行日から逆算して25日前後）	である調に統一する。	問答を抜粋するので、なるべく言ったままを載せるようにしているが、それでは文字が多過ぎたり、意味が通じなかったりすることもある。そこにどれくらい手を加えるかは悩むところ。
津奈木町 『つなぎ議会 だより』		議員本人	議員本人	議員本人	委員会でその都度決めている	特集記事による取材と原稿作成の担当割り振りを行う。	質問者が誰で、答弁者が誰であることを記載する。見出し、小見出しで内容が分かるよう気を付けている。また、住民に見やすく、分かりやすいように写真やイラストなどを使うようにしている。
錦町 『錦町議会 だより ほおじろ』	960字以内	議員本人	議員本人	議員本人	広報委員会開催の前日まで	・原稿用紙3枚までにまとめること。 ・写真挿入2枚以上の場合、原稿文字数の削減。	・提出された原稿の誤字 ・議事録の内容と違いがないか ・誰が読んでも理解できる内容か ・議員にマイナスイメージが出ないように内容確認する
あさぎり町 『あさぎり町 議会だより』	1,000字以内	議員本人	議員本人	議員本人	次月初日の議員懇談会の日まで	・「～だ・～である」調での記載 ・一般質問では、関連写真を2枚提出	質問者の記事は、本人の責任として、そのまま記載する （誤字、脱字等のチェックは行う）
湯前町 『ゆのまえ議 会だより』	700字以内	議員本人	議員本人	議員本人	編集会議の前々日	・原稿の提出前に、議会だより編集要領による表記のセルフチェックを行う ・原稿は、原則、USBメモリーか電子メールで入稿する	・質問内容や答弁内容をコンパクトかつ伝わる内容にまとめ上げること ・文字数を極力減らし、写真や図表を複数以上挿入すること
多良木町 『たらぎ議会 だより』	1,000字以内	議員本人	広報委員会	広報委員会	議会終了後10日以内	・質問は3問以内とし、答弁含む100文字以内とする ・写真は最低2枚入れる	・です・ます調ではなく“である”調としている ・難しい議会用語に関しては「用語解説」を設けている ・質問と答弁内容等はなるべく簡潔にまとめ、短時間で読めるボリュームになるようにしている
水上村 『議会だより』	1,000字以内	議員本人	議員本人	広報委員会	委員会開催の前日まで		・質問者が提出した原稿の内容と広報委員からの修正点のすり合わせ作業に時間を要する ・写真データを収集、選定する場合、広報用に見栄えのする写真が意外に少なく、実際現地に撮りに行くことも多いため時間を要する

第2グループ	5 企画・特集記事			6 読んでもらうための工夫		7 その他
	(1) 定期的に、企画や特集記事として掲載しているもの (例 住民紹介、追跡記事、議会用語解説 など)	(2) 定期的ではないが近年、特に力を入れた（チャレンジした）もの	(3)今後取り上げてみたいテーマ（計画を含む）	(1) 住民に読んでもらうために「紙面上」で工夫しているところ	(2) 「紙面以外」で工夫していること（計画を含む）	(3) 今後工夫したいと考えていること (実現するかどうかは関係なく)
小国町 『おぐに議会だより』	「傍聴に来ませんか。」傍聴者へのインタビュー	予算・決算審査での質疑紹介		目を引く表紙写真。読者に募集している。	特になし	SNSアカウントを作成し、発行などを広報していく。
津奈木町 『つなぎ議会だより』	130号から住民紹介を「つなぎ発掘元気印」と名称変更し、毎号、頑張っている町民を紹介している。	議会改革の一環で、各種団体等との意見交換を行い、その都度記事として掲載している。	モニターによる、議会への提言等を計画したい	表紙の写真や最終ページの「つなぎ発掘元気印」の記事・写真など読者が目を引くよう工夫し、紙面の文字も大きく見やすいようにしている。町の施策がどのような計画なのかを、わかりやすく伝えられるように専門的な用語を出来る限り使わないように、気を付けている。	情報収集を行うために、議員自らイベント等に参加をしている。	
錦町 『錦町議会だよりほおじろ』	・町民の声 ・傍聴席から一言 ・研修報告 ・町民へのインタビュー	文化財紹介	・町民、地区紹介 ・子育て世代の声紹介	第一に表紙。 写真、イラストを多めに。	一般質問の内容を大きめに表示。	予算的に厳しいが、多色での作成。 どのようにしたら読んでもらえるか。
あさぎり町 『あさぎり町議会だより』	町民の声（写真）、中学生議会だより（2月発行別冊）、南校高校生との意見交換会の内容を記載	傍聴された人の一言を掲載（R5.11月発行分から）	町民の声や写真等を多く記載し、町民に親しく読んで貰える内容の充実に努める			写真をカラーで掲載できる様予算確保を行う（現在は、表紙と裏表紙の2ページのみフルカラー）
湯前町 『ゆのまえ議会だより』	・住民の声と題して、特集記事などに関係がある住民の方2名（毎号）へのインタビュー内容を掲載している。 ・読者の関心を引くため、「教えてゆっくん※」による用語解説を入れている。 ※：本町のマスコットキャラクター	議会改革や子ども議会など、議会が率先して取り組んだ内容に力を入れている。	・一般質問の追跡調査 ・議会に対する住民アンケート	・議会だよりを最後まで読んでいただく工夫として、「表紙」「特集」「住民の声」の3つを関連づけている ・文字数を極力減らし、写真や図表を挿入して、分かりやすく読みやすい内容を心掛けている ・一般質問の録画映像配信をYouTube上で行っているため、各議員の一般質問のページに、リンク用のQRコードを掲載している。 ・一般質問の関心度を読者と共有するめ、「一般質問のYouTubeアクセスランキング」を掲載している。 ・一般質問後の議員の想いを表現するめ、「議員のつがやき」を入れている。 ・「編集後記」の読み飛ばしを減らすため、記事を書いた委員の顔写真を入れている。	・議会だより発行の際は、SNSを活用し情報を発信して、住民への周知を行っている。 ・マチイロ（自治体が情報発信できるアプリ）に登録し、情報発信に努めている。	議会だよりの住民ニーズや広報効果（閲読率や視聴数など）を把握するため、住民アンケートを実施したい。
多良木町 『たらぎ議会だより』	最終ページに、記事に出てきたタイムリーな話題や議会に関する用語等を「豆ちしき」として方言での会話方式でわかりやすく、また身近に感じてもらえるように解説している。	親しみやすい議会広報紙づくりのため、議員紹介のページでは、各議員のイメージに合うように人物イラストを作成した。	本町の課題解決のため、議会活性化特別委員会を設置したので今後は毎回、委員会の特集記事として掲載し、議会の見える化を図りたい。	決まったことではなく、そこまでのプロセスを書くことで分かりやすくするように気をつけている。また、町民目線での編集を心がけ、漢字を少なく、議会用語等はなるべく使わず、わかりやすいように書くことで読者に伝わるように気をつけている。	議会終了後、なるべく早く町民に情報を届けるように、発行可能な直近の回覧日に発行できるようにしている。また、町民以外の方にも読んでもらえるよう、ホームページにも掲載している。	町民目線で伝えるため、町民が議会について語るページや議会側から町民側へ出向き、様々な世代にインタビューを敢行し、特集記事にしたりして、双方向性を持たせた議会広報紙にしたい。
水上村 『議会だより』			特定の（重要な）テーマに対し、住民からの意見を紹介するコーナーを掲載できないか。	・なるべく写真、イラストを多めに使い、少しでも興味を持っていたけよう心掛けている。 ・より理解していただけるよう、専門的な用語については注釈を、難解な文章は平易な文章に置き換えている。		全国表彰で上位にランクインされた議会から、取り組み内容などについて講演いただくのでもいいのではないか。